

## カールツァイス社、新しいハイエンドシネプライム

### 「Supreme Prime Radiance」レンズシリーズを発表

Supreme Prime の光学性能に、撮影者がコントロール可能なフレア表現を付加

カールツァイス株式会社(代表取締役:シュテファン・サクレ)は、新しいハイエンドシネプライム「Supreme Prime Radiance (スプリームプライム・ラディアンズ)」シリーズを発表します。

これはラジフォーマット対応かつシリーズ中の多くのレンズが開放値T1.5で比類のない描写性能を実現した Supreme Prime シリーズをベースに、新開発の「T\*blue」コーティングを施し、美しいルックと撮影者が意図を反映したフレア表現をコントロールできる、これまでにない映像表現を可能にした新しいレンズシリーズです。



#### 美しいフレア表現によるクリエイティブな映像

Supreme Prime Radiance は、21mm から 100mm までの全 7 焦点距離がセットでリリースされ、T1.5 というハイスピードを誇るレンズシリーズです。低照度下でも微妙なニュアンスを描き分けることができ、「T\*blue」コーティングによって思い通りのフレアをコントラストや透過性を失うことなく、従来の ZEISS レンズ同様の高画質を維持しながら創り出すことが可能です。

このレンズは、合焦点から被写界深度内のスムーズな画の繋がりとエレガントなボケによって魅惑的なルックを創り出しつつ、フレアによる光学的なキャラクターが際立っており、想像力と個性が求められる劇場公開映画やコマーシャルなど、撮影者のあらゆる芸術的な要望に応えられる万能なレンズです。

## ZEISS シネマレンズ プロダクトマネージャー クリストフ・カセナベ(Christophe Casenave)

### によるコメント

「本シリーズは、Supreme Prime を使った撮影監督たちからより個性的な写りを求める声が寄せられたことから開発がスタートしました。ラージフォーマットに適した個性の創出とはなにか、私たちは多くの映画製作者や専門家と議論を重ねるなかで、映像作品のストーリーを紡いでいく中で意図的にレンズフレアを使いたいという撮影者たちの要望が明確になりました。

次に私たちは彼らの要望に応えるため、フレアとその表現が映像に与える影響を詳細に検証しました。そして、単にフレアを生成するだけでなく、画質とコントラストを損なわず、またどのような状況下でもフレア効果を意図に沿ってコントロールできるように、T\*blue コーティングを開発しました。

Supreme Prime Radiance は、全焦点距離を通じて卓越した一貫性のあるフレアを、撮影者の意のままに作り出すことができます。我々はシネレンズに対する ZEISS の経験と情熱が注ぎ込まれたこのレンズシリーズで、すべての映像制作者の創作活動をサポートしたいと願っています」

### コンパクトで軽量のフルフレーム対応レンズ

Supreme Prime Radiance は、フレア機能以外は Supreme Prime と全く同様の技術的特長を備えています。46.3mm のイメージサークル径はラージフォーマットセンサーをカバーしており、Sony VENICE、ARRI ALEXA LF/Mini LF、RED MONSTRO 等の最新のカメラと互換性があります。

さらに各レンズの重量は平均約 1.5kg で全焦点距離のレンズ前枠径が 95mm、フォーカスリングと絞りリングの位置も同じ位置にくるよう統一され、その操作性は卓越しています。

### ZEISS eXtended Data 搭載

また Supreme Prime Radiance には、Supreme Prime と同様に、先進のメタデータテクノロジー「ZEISS eXtended Data」が搭載されています。「ZEISS eXtended Data」は、すでに多くのカメラやアクセサリが対応している Cook/i テクノロジー※1 プロトコルによる基礎的なメタデータに加えて ZEISS 独自のレンズのシェーディング補正とディストーション補正のデータをフレーム単位で提供します。これにより、特に VFX やバーチャル映像の編集ワークフローの精度と作業効率を劇的に向上させます。

### 期間限定受注

ZEISS Supreme Prime Radiance の日本での受注開始は 2019 年 11 月 13 日で、2020 年 3 月 31 日までの期間限定でご注文いただけます。シリーズすべて開放値 T1.5 の 21mm、25mm、29mm、35mm、50mm、85mm、100mm の 7 本セットで 17,415,000 円 (税別)、ZEISS 特約販売店の株式会社ナックイメーજテクノロジーよりお届け致します。(デリバリーは、受注期間終了後の 2020 年 4 月より順次開始される予定です)

## 発表スケジュールその他

ZEISS Supreme Prime Radiance は、2019年11月9日から16日までポーランドのトルンで開催される「CAMERIMAGE 国際フィルムフェスティバル」において初お披露目され、会場ではこのレンズで撮影されたショートムービー「R&R」（撮影：ロドリゴ・プリエト ASC / Rodrigo Prieto）と、「Metamorphosis」（撮影：石坂拓郎 JSC）が劇場上映されます。

会場にお越しになれない方々も、上記両作品は下記製品リンクよりご覧いただくことができます。

CAMERIMAGE 終了後は、ZEISS 社が各国の販売会社およびレンタル会社で ZEISS Supreme Prime Radiance の展示会を行い、世界のシネマトグラファーたちに直接レンズをお試しいただく機会を設ける予定です。

詳細は、[www.zeiss.com/cine/radiance](http://www.zeiss.com/cine/radiance) をご覧ください。

※1 /i は Cooke Optics Limited の登録商標であり、許可に基づいて使用しています。

## ZEISS 社について

ZEISS 社は、光学およびオプトエレクトロニクスの分野で事業を展開する国際先端技術企業です。前年度、ZEISS グループは、産業品質管理・研究、医療技術、一般消費者市場、半導体製造技術の4つのセグメントで合計58億ユーロを超える年間売上がありました（2018年9月30日）。

ZEISS 社は、産業計測と品質保証のための革新的なソリューション、ライフサイエンスと材料研究のための顕微鏡ソリューション、眼科と顕微鏡手術の診断と治療のための医療技術ソリューションの顧客向けの開発、生産、販売を行っています。ZEISS という名前は、半導体部品を製造するためにチップ業界で使用される世界をリードするリソグラフィ光学系の代名詞でもあります。メガネレンズ、カメラレンズ、双眼鏡など、トレンドを生み出す ZEISS ブランド製品に対して世界中で需要があります。

デジタル化、ヘルスケア、スマートプロダクションなどの将来の成長分野に合わせたポートフォリオと強力なブランドにより、ZEISS 社は光学および光電子産業を超えた未来を作っていきます。研究開発への同社の持続的な投資は、ZEISS 社の技術と市場におけるリーダーシップの成功と継続的な拡大の基盤を築いています。

約30,000人の従業員を擁する ZEISS 社は、約50ヶ国で約60の販売およびサービス会社、30を超える生産拠点、約25の開発拠点でグローバルに活動しています。1846年にイェナで設立された同社は、ドイツのオーバーコッヘンに本社を置いています。科学の振興に取り組んでいるドイツ最大の財団の1つであるカールツァイス財団は、持株会社であるカールツァイス AG の唯一の所有者です。

詳細については、[www.zeiss.com](http://www.zeiss.com) をご覧ください。

## ZEISS コンシューマープロダクツ

ZEISS コンシューマープロダクツは、同社のカメラおよびシネレンズ、双眼鏡、スポッティングスコープ、ハンティングオプティクスのビジネスから構成されています。一般消費者市場セグメントに該当し、拠点はドイツのオーバーコッヘンとウェットラーにあります。

<ナックイメージテクノロジー制作営業部について>

映像制作に関わるプロフェッショナルなユーザが求めるカメラやライトなどの高品質な映像制作機器を幅広くお取り扱いしています。放送・映画・コマーシャル・音楽ライブ・プロモーションビデオ向けに世界中で支持される映像制作用の一流製品を取り揃えてユーザのニーズにお応えします。

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社ナックイメージテクノロジー 制作営業部  
TEL : 03-3796-7901 E-mail : seisaku@camnac.co.jp  
Website : <https://www.nacinc.jp>